



私学助成をすすめる会ニュース

発行：千代田学園すすめる会事務局

すすめる会
って、何する
ところ？

新入生、保護者の皆さん ご入学おめでとうございます

2018. 4. 4.

私たち「千代田学園私学助成をすすめる会」は、1978年に発足以来40年間「子どもたちが安心して学校生活を送れるように」と保護者と教職員と生徒が力を合わせてさまざまな取り組みを行ってきました。

千代田学園では、すべての保護者の皆様にこの「千代田学園私学助成をすすめる会」（省略「すすめる会」）に入会していただいております。入会金などは必要ありません。「すすめる会」では、外国に比べて非常に高い私学の授業料を少しでも軽減させるために、運動をすすめてきました。その努力が実り、国からの就学支援金と大阪府からの授業料支援補助金と合わせると、年収590万円以下の家庭には授業料の負担が0で通えるようになりました。公立高校は、実質無償となっています。私立学校も公教育を担うという立場から、私立高校へ通うすべての生徒達が無償となるよう運動をすすめていきたいと思っております。どうぞ、ご協力よろしく申し上げます。早速、大阪私学助成をすすめる会よりご案内です。多くの方のご参加をお待ちしています。2、3年生の保護者や教職員と語り合しましょう♪



大阪私学助成をすすめる会主催

2018 ようこそ私学へ

～新入生父母歓迎のつどい～



新たな生活に、大きな希望とちょっぴりの不安を抱えながら入学の時を迎えられる新入生・保護者の皆さん。この「ようこそ私学へ」のつどいは、新入生保護者の皆さんに少しでも安心していただけたらと考え、毎年大阪の私立学校を会場にして開催しています。このつどいには、新入生の保護者のみなさんだけでなく、現役やOBのお父さん・お母さんも参加されますし、各学校の生徒や教職員も参加します。不安や悩み、学校への疑問など自由に話しに来てください。きっと現役の保護者・先生の皆さんがこたえてくださいますよ。ご講演くださる竹内先生については裏面をご覧ください。

日時：4月29日（祝）10時～15時

*半日の参加でもOK♪

会場：桃山学院高等学校

大阪市阿倍野区昭和町3-1-64 *お車でのご来校はご遠慮下さい。公共交通機関をご利用下さい。

地下鉄御堂筋線 昭和町駅 3号出口 南へ徒歩約5分

タイムテーブル

10:00 開会・全体会

10:30 **記念講演 「スマホ時代の子どもたちのために」**

竹内 和雄先生（兵庫県立大学環境人間学部准教授） *詳細は、裏面へ

12:30 移動・昼食

13:00 学園別交流会・生徒交流会

15:00 解散

2018ようこそ私学へ～新入生・父母歓迎の集い～ 参加申し込み用紙

（参加&弁当の2カ所に○印を）

参加します（全日・午前・午後）（ ）年（ ）組（ ）番 生徒名前_____

弁当（要・不要） 参加保護者名_____

会費：1,500円(弁当代を含む) 交通費：一律1,000円(会費・交通費は、千代田学園すすめる会より支給)

*この申し込み用紙を担任までご提出下さい

大阪私学助成をすすめる会をよろしくお願ひします

私たち大阪私学助成をすすめる会（以下、「すすめる会」）では、日頃、子どもたちを中心に、保護者と教職員がつながりをつよめ、学校生活についての不安や疑問を出し合いながら行き届いた教育について話し合っています。

そんな中で、家庭の経済的負担を軽減し、教育条件を改善するために「就学支援金」や「私学助成制度」の拡充を求める運動に取り組んでいます。

学費の軽減を求める運動は1970年代から始まり、2010年にはついに高校の無償化が公立高校で実現し、大阪府でも私学に通う生徒の半数近くが学費が無償となる制度が出来ました。こうした変化も私たちの運動があったからこそだったのです。しかし、まだまだすべての家庭が無償化の対象になってはおりません。昨年も大阪全体で23万筆、全国では557万筆の署名を集め、国会と大阪府に提出し「私学への補助金の増額」「就学支援金の所得制限の撤廃」を求めました。2月に行われた署名提出集会には、70人以上の国会議員・秘書が参加し、私たちの願ひに賛同されていましたし、国会への請願の紹介議員には180人以上の国会議員がなってくださいました。私たちの願ひを前進させるためには、みんなの声が集まらなければなりません。皆さんのご協力を願ひします。

◇**2017年度全国私学助成署名提出数全国：528万7855筆 大阪：19万4572筆**

◇**2017年度全国私学助成署名大阪紹介議員（13人）**

自由民主党

左藤章衆議院議員・大西宏幸衆議院議員・宗清皇一衆議院議員・神谷昇衆議院議員
大隈和英衆議院議員・

立憲民主党

森山浩行衆議院議員・辻元清美衆議院議員・長尾秀樹衆議院議員

日本共産党

宮本岳志衆議院議員・山下芳生参議院議員・辰巳孝太郎参議院議員・大門実紀史参議院議員

無所属

平野博文衆議院議員

竹内和雄先生プロフィール

兵庫県立大学環境人間学部准教授（教職担当）

公立中学校で20年間生徒指導主事等を担当（途中、小学校兼務）

寝屋川市教委指導主事を経て2012年より現職。

生徒指導を専門とし、いじめ・不登校・ネット問題・生徒会活動などを研究している。文部科学省、総務省等で子どもとネット問題についての委員を歴任。NHK「視点・論点」「クローズアップ現代」等にも出演。

毎日新聞に「竹内先生の新教育論～スマホっ子の風景」連載中。

ウィーン大学客員研究員。



今、SNSを使ったいじめやトラブルが子どもたちに多発しています。発達途上の子どもたちですから、人間関係がうまくいかないことやコミュニケーションの未熟さは当然あることです。

しかしながら、知らない次々と新しいツール・アプリが出てくる中で、子どもたちがどのようにSNSを使っているのか、どんなふうに危険なのかを身近な大人である保護者や教職員が知らず情報量の多さについていけないのが現実です。

竹内先生のお話は、とてもわかりやすく様々な学校で引っ張りだこの状況です。ぜひ、多くの保護者と教職員にお聞きいただきたい内容です。